

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立小岩第五中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	35.0%	45.0%
令和 7 年度の目標	35.0%	45.0%
令和 6 年度の結果	34.8%	44.9%
令和 5 年度の結果	25.1%	40.4%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	37.4%	34.9%	34.9%
第 1 学年	33.3%	31.7%	39.7%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・ 定期考査や小テストの結果分析に基づく授業改善を継続する。 ・ 定期的な研修会を実施する。 ・ 研究授業を実施し、授業を見合う機会を設ける。	・ build-up timeとして、朝学習の時間を設定し、基礎学力の向上に努める。 ・ 放課後補習教室等、学習内容の定着を図る学習の機会を充実させる。 ・ ３年生が受験時に役だった各教科の学習方法を下級生に向けて掲示する。掲示を見て、学び方を考えるきっかけにする。	・ 家庭学習の取組を保護者会で説明し、家庭と連携する。 ・ 定期考査前２週間に学習計画表を活用し、目標・計画・振り返りの習慣定着を図る。 ・ 週３日以上家庭学習に取り組ませる。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・ 特別支援の視点で行う研修会を実施する。 ・ 校内研修を通じ具体的な支援方法について共通理解を図る。 ・ 生徒情報を密に共有し、適切な指導を行えるようにする。	・ 授業のユニバーサルデザインの推進を行う。 ・ 定期考査前に各教科や学年で質問できる機会を設けるなど、全体・個別支援を充実させる。 ・ 学習内容が定着するようくり返し同じ問題に取り組ませるなど工夫する。	・ 努力すれば達成できる目標設定を意識させ、成功体験をさせる。 ・ 誰でも取り組める課題を用意し、まずは家庭学習を行う習慣をつける。
成果指標	「全国学力・学習状況調査」 調査実施教科の「授業の内容はよく分かる」の質問項目に対し、肯定的回答80％以上を目指す。	「全国学力・学習状況調査」 学習方法に関する質問項目に対し、肯定的回答70％以上を目指す。	「全国学力・学習状況調査」 家庭学習に関する質問項目に対し、「平日１時間以上」の回答70％以上を目指す。